

【小児看護学】

問 次のA～Cの微細運動について、発達の順序にそって①～③に記入しなさい。

- A 親指を使ってつかむ。
- B 熊手型でつかむ。
- C 親指と人差し指でつかむ。

6 か月 → → → → 16 か月

問 次の文を読み、各問いに答えなさい。

生後3か月を過ぎたころ、母親が違和感を感じ、小児科を受診。先天性股関節脱臼（発育性股関節形成不全）の診断で、リーメンビューゲル装具の着用による治療が開始され、外来通院となった。

(1) 3か月の乳児の成長発達で正しいものを、次の中から2つ選びなさい。

- 1 あやされると笑う。
- 2 見知らぬ人に対して泣くなどの不安の感情を示す。
- 3 「アー」「ウー」などの母音中心の声を出す。
- 4 夜中に急に激しく泣きだす(夜泣き)ことがある。
- 5 おもちゃなどを見て、その方向に正確に手をのばす。

(2) 先天性股関節脱臼について、正しいものを、次の中から2つ選びなさい。

- 1 男児に多い。
- 2 股関節の開排制限や大腿部のしわに左右非対称がみられる。
- 3 大腿骨頭壊死（ペルテス病様変化）をおこすおそれがある。
- 4 装具装着によりフォルクマン拘縮をきたすことがある。
- 5 出生後は、股関節・膝関節の伸展位保持に努める。

(3) 家族への指導で適切なものを、次の中からすべて選びなさい。

- 1 不機嫌で激しく泣く場合は、向かい合う姿勢で抱っこする方法（コアラ抱っこ）を指導する。
- 2 装具は終日装着する必要があるので、入浴や清拭は控えるように指導する。
- 3 脱臼が整復されると、子どもは痛みを感じて泣くことがあることを指導する。
- 4 ベルトにより膝の裏や足部は皮膚を損傷しやすいので、観察、対応の方法を指導する。
- 5 オムツを交換する場合は、両足首を持ち上げて行うように指導する。